

真・魅力通信

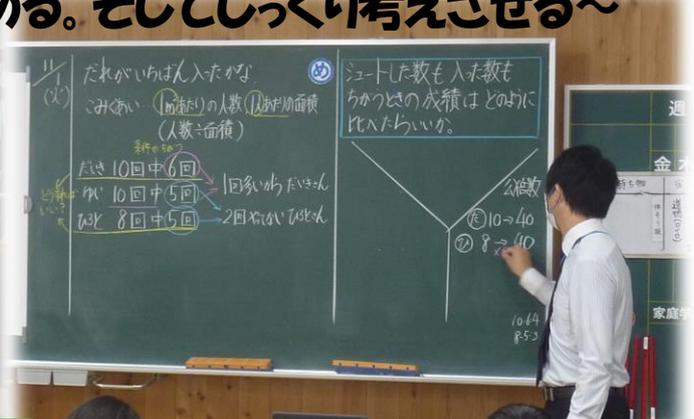
保幼こ小中一貫コーディネーター：奥村 崇志

第4回袋井あやぐも学園幼小中一貫教育研修会

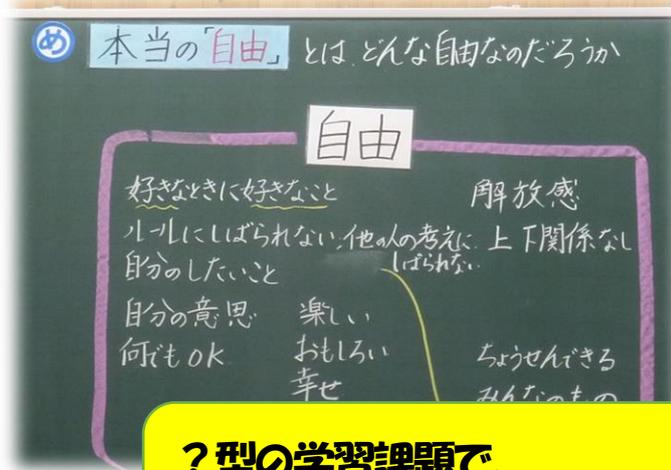
～しっかりしつけ、たっぷりほめる。そしてじっくり考えさせる～



児童の思いを大切にした授業展開



思考ツールを活用した板書



?型の学習課題で、
児童の学ぶ意欲を高める



一人一台タブレットを活用した
個別最適な学び

11月1日（火）袋井北小学校にて、第4回袋井あやぐも学園幼小中一貫教育研修会が行われました。袋井北小学校の授業を参観させていただき、幼・小・中それぞれの立場から、**共通して取り組んでいることを確認したり、幼小の接続・小中の接続のイメージを再認識したり**するなど、令和4年度の「袋井あやぐも学園・真化の取組」として、学園職員が**確かな手応え**を得た研修会となりました。

演題

子どもの幸せを生み出す
潤いのある学級・学校・学園づくり
- 優れた教師の「見取り」と「舵取り」 -



鳴門教育大学 教職大学院
久我 直人 教授

授業を参観した後は、鳴門教育大学教職大学院の久我直人教授による『子どもの幸せを生み出す潤いのある学級・学校・学園づくり～優れた教師の「見取り」と「舵取り」～』という講話を聞かせていただきました。勇気付け教育を根幹に据え、「**しっかりつけて、たっぷりほめる。そしてじっくり考えさせる**」ことを再認識するとともに、私たちが同じ方向を向いて取り組んでいることを強く実感する機会となりました。児童生徒が勇気をもらっているのと同様に、私たち学園職員も自信を持って実践できる勇気をいただけたような気がします。

私たちの共通実践が、取組を「真化」させるだけでなく「児童生徒の健やかな成長」に還元されていきます。今後も、「1人の100歩より100人の1歩」を意識して、実践していただければと思います。

講演会の後は、6つの部会に分かれて分散会を行いました。分散会の様子は、「真・魅力通信 第10号（次号）」で紹介いたします。

※ 袋井あやぐも学園のあゆみは、「袋井中学校ホームページ」を御覧ください。